

令和4年11月（第6回）教育委員会 議事録

1 開会及び閉会の日時

令和4年11月17日（木）午前10時～午前11時

2 場所

本庁舎 302会議室

3 出席委員

- ・教育長 松本 謙一
- ・同職務代理者 竹部 俊恵
- ・教育委員 林 紀孝
- ・教育委員 中川 日登美

4 説明出席者

- ・教育部長 村上 紀道
- ・教育部次長生涯学習スポーツ課長 鵜野 幸男
- ・教育総務課長 氏家 智伸
- ・こども課長 溝口 早苗
- ・中央図書館長 武島 朗子
- ・教育センター所長 山田由紀子
- ・高校総体スキー推進室長 平本 光一
- ・教育総務課副参事 吉尾 徹
- ・教育総務課主幹 金谷 諭
- ・教育総務課主幹 保市のり子
- ・教育総務課主事 村井 美緒

5 傍聴者 なし

6 会議の要旨

午前10時、教育長が開会を宣し、議事に入る。

1 教育長の報告

9月21日 富山県へき地小規模学校教育研究会に出席。

9月23日 市長室にて、こどもの権利条例の提言書を市長へ提出。

10月7日 南砺市立学校のあり方検討委員会に出席。

11月11日 石川中央都市圏議会連絡会の行政課題研究会に出席し、令和の教育改革についての講演を行った。

2 前回議事録の承認

全員異議なく承認した。

3 協議事項

(1) 南砺市こどもの権利条例の制定について

こども課長から説明を行った。

(2) 令和4年度12月補正予算要求について

各担当課長から説明を行った。

4 報告事項

(1) 令和4年度10月補正予算の概要について

生涯学習スポーツ課長から説明を行った。

(2) 令和4年度9月会議の要旨について

各担当課長から説明を行った。

(3) 第1回南砺市立学校のあり方検討委員会について

教育総務課長から説明を行った。

(4) 常陸宮賜杯第73回中部日本スキー大会について

高校総体スキー推進室長から説明を行った。

- (5) 市立図書館ホームページのリニューアルについて
中央図書館長から説明を行った。

5 その他

- (1) 南砺市立図書館12月事業について
中央図書館長から説明を行った。

6 今後の日程

次回教育委員会開催（予定）

日時 令和4年12月15日（木）午後3時

場所 本庁舎 302会議室

7 議事

3 協議事項

(1) 南砺市こどもの権利条例の制定について

- 竹部教育委員 P4条例内の「こども」の定義について、こども基本法の定義も踏まえ、「心身の発達の過程にある者」ということで表記・定義の変更をしたということだが、条例の内容は、18歳未満を想定しているということか。
- こども課溝口課長 18歳からは成人であるため、基本的には18歳未満を想定している。しかし、発達には個人差等もあるため、年齢ではっきりと線を引いてしまうのではなく、発達を見ながら考えていく必要もあることで定義の変更を行った。
- 松本教育長 18歳未満のこどもに限った条例では無くなったことは、「こども」というひらがなの表記になったという以上に大きな変化であると思う。その点については、しっかり共通認識をしておく必要があるという委員からのご指摘かと思う。
- 竹部教育委員 南砺市内の学校における人権教育は、条例制定によってどう変わっていくのか。今後の学校教育の内容についても是非検討してほしい。
- こども課溝口課長 こども達に対する条例内容の普及は、学校との協力無しでは成しえないことだと考えている。今後、教材作成や道徳の授業を活用した人権教育の中でのこどもの権利についての普及・啓発について、教育センター等と連携しながら検討を進めていきたい。
- 松本教育長 教育センターが窓口となり、来年度の教育計画作成時に条例の内容について、どう計画内で形にしていくのかを検討してほしいということが、竹部委員のご意見かと思う。学校に加え、条例の対象を考えると、保育園にも関わってくる内容だと思う。そのため、こども課と教育センターが中心となり、来年度の教育計画の工夫をどのように各校、園に徹底していくか等を今後検討してほしい。

4 報告事項

(3) 第1回南砺市立学校のあり方検討委員会について

○林 教 育 委 員 部活動関連の話で、P28以降の令和4年9月議会の答弁中にも関連した答弁があったと思うが、市P連とどのような話し合いを11月初旬に行ったか等、進捗状況を聞きたい。

○教育総務課氏家課長 現在、部活動の拠点校化案については公表を延期している。先般、市P連の方々と教育委員会で一度協議をさせていただいた。その中で、改めて拠点校化についての説明を市P連の方々に行い、各学校の市P連の小学校・中学校毎に、市P連として残したい部活動の拠点校の案を12月23日までに出していただくということをお願いをしたところである。

教育委員会からの説明に対して、市P連の方々にはご理解を示していただいている。12月23日までに提出いただいたものをもって、改めて令和5年1月頃、市P連と協議を行い、体育協会や校長会等との調整も行った上で、なるべく早い段階で拠点校化案の公表まで漕ぎつけたい。

○松 本 教 育 長 市P連との会議について要点は2つある。

1点目は、PTA会長の方々については毎年役員の変更がある場合が多いため、これまで拠点校化に関して行ってきた内容について、改めて説明を行い、知ってもらう必要があるだろうということである。

2点目は、拠点校化というのは引き受け手側である市民側の団体に引き受けてもらわなければ、実現は難しいということを前提に、全て希望通りに実現させることは難しいが、今後拠点校化案を決定する上での参考とするために、市P連の方々のご意見をお伺いする場を設けたということである。

○村 上 教 育 部 長 11月8日に、市P連と拠点校化・地域移行に関する意見交換会議を開催した。参加された市P連の方々は、当初、会議の目的が、教育委員会が考えた拠点校化案でどうにか押し進めるために市P連へ説得を行うための会議だと勘違いされている方もいたようであった。

しかし、教育委員会としては教育長も説明した通り、役員が変わられたということもあり、市P連の方々へ拠点校化の基本的な内容を今一度説明させていただくこと、そして会議内で何かを決定するというものではなく、市P連の方々へ拠点校化案について現実的な希望を出していただきたいということをお願いするという目的の会議であった。そのことは、しっかりと市P連の方々にもご説明することができ、当初、会議の目的に関して勘違いをされていた方々の誤解も解くことができた。

○松 本 教 育 長 会議時、市P連の方々へは、現状維持はありえないということ
を、例えば教員の働き方改革等の観点等からも難しいという
事をご説明し、各学校に部活数はこの数が適しているというこ
とも教育委員会よりお示ししたところである。

ただ単に、市P連の拠点校化案の希望をそのまま出していた
だくということではなく、現実的にどうにもならない状況につ
いてもご理解をいただき、その現状に沿った現実的な案をお出
しいただくという計画で進めている。

午前11時、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。

令和4年 月 日

南砺市教育委員会

教育長